

4.4 浜寺水路における活性化方策

4.4.1 浜寺水路の現状

浜寺水路は以下のような交通条件、立地条件、地理的条件を有しています。



※航空写真は大阪府より提供

図 浜寺水路概観

<交通条件>

- 阪堺電気軌道（終着駅）、南海本線、浜寺公園から徒歩圏です。
- 浜寺公園駅前線の完成により鉄道駅から歩行者が快適にアクセスできます。
- 常磐浜寺線の完成により自動車による内陸部からのアクセス性向上が期待できます。

<立地条件>

- ミニ干潟で地元小中学生を対象とした環境学習が活発化しています。
- 家族連れやカップルなどが訪れる府営浜寺公園に隣接しています。

<地理的条件>

- レガッタ競技が行われる静穏な海域を有しています。
- 公園に隣接し長い階段式護岸を有しています。

4.4.2 活性化コンセプト等

(1) 活性化コンセプト

浜寺水路は、静穏な水域を有しておりこれを活用した環境学習等が実施されています。また、府営浜寺公園が隣接しており市民の憩いの場となっている。更に当地区は駅に近接しておりアクセス性に優れています。

以上より、「親水」と「交流」に着目した

「公園と一体となった親水・市民活動の拠点」

を浜寺水路の活性化コンセプトとし、「エンターテインメント・エドツーリズム」を戦略プログラムとして施策を展開します。

(2) 取組み内容

市民・子どもたちが海や生き物と触れ合える場の確保や海洋性のレクリエーション活動の向上（エンターテインメント）を図るとともに、環境教育の場としての活用を更に高める（エド）ことにより、阪堺電気軌道の利用促進に貢献します。

(3) 主な対象者

- ・スポーツ・環境活動に訪れる市民、NPO、浜寺公園に訪れる市民や子ども
- ・浜寺水路でのイベント・レクリエーション活動に参加する広域からの来訪者

4.4.3 利活用ゾーニング

浜寺水路の活性化コンセプトである「公園と一体となった親水・市民活動の拠点」を実現するため、利活用ゾーニングを以下のとおりとしました。

水域部分は、静穏で幅が広い水面空間を有し、今後さらなる有効活用を行う必要があることから「**水面利用ゾーン**」と位置づけます。

護岸前面部分は、臨海部で数少ない海水に触れられる箇所であり、環境学習の場として更なる利活用が必要であることから、「**親水ゾーン**」と位置づけます。

浜寺公園は、広域な緑地を有しており様々な市民活動が実施されている他、市民の交流の場として利活用され、また背後の阪堺電気軌道の利用を考慮に入れた水路と公園の一体利用を行うため、「**交流ゾーン**」と位置づけます。

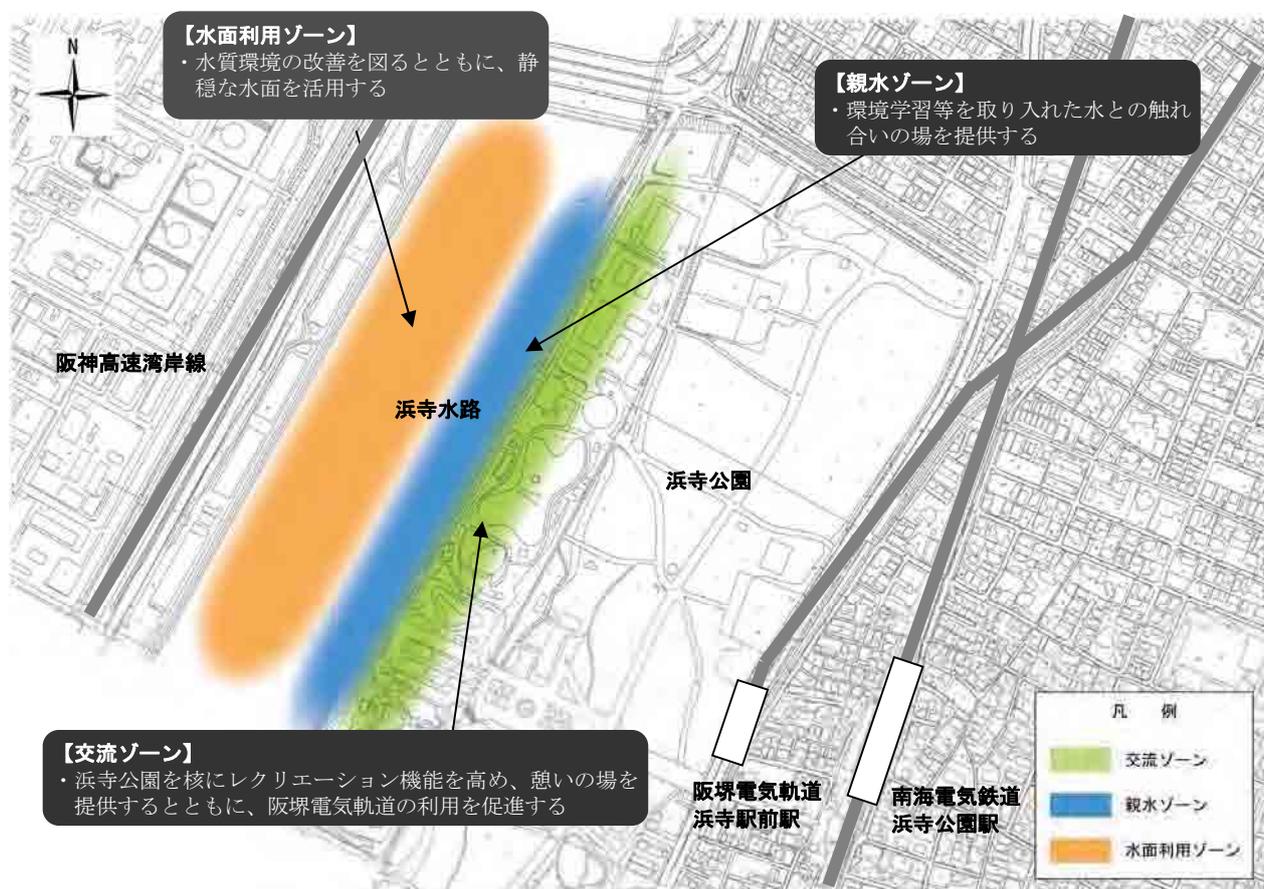


図 浜寺水路の利活用ゾーニング